

科目区分	専門基礎分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	感染症と微生物			担当教員	守屋 修		
使用テキスト	1)メディカ出版 疾病の成り立ちと回復の促進③ 臨床微生物・医動物						
テキスト以外の教材・参考書等							
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>病原体と感染および免疫について学ぶことは、医療者として安全な医療を行うためには不可欠である。看護職は患者の一番身近な医療職として院内感染に注意し看護を行う必要がある。</p> <p>本授業では病原体の種類、感染症の成立と経過、免疫と生体防御機構等を学び、看護実践に活かすことを目的とする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病原体の種類を知ることができる。</li> <li>2. 病原体の感染経路が理解できる。</li> <li>3. 病原体の感染経路に応じた感染予防対策が理解できる。</li> <li>4. 病原体に感染したときの症状と治療法が理解できる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：病態学,病理学,公衆衛生学,臨床検査,回復を促す技術Ⅱ						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	微生物・医動物とは	
2	呼吸器感染症	
3	消化器系感染症、肝炎	
4	尿路感染症、性感染症	
5	皮膚・粘膜感染症、脳・神経系感染症	
6	人獣共通感染症、寄生虫感染症	
7	小児の感染症、母子感染	
8	高齢者の感染症、日和見感染症、薬剤耐性	
9	感染症の分類	
10	感染防御機構の基礎	
11	感染・発症予防	
12	滅菌と消毒	
13	感染症の検査	
14	感染症の治療	
15	終講試験と解説	